

既存計画の進捗状況

交通道路マスタープランの進捗状況

概ね平成 37（2025）年を目標とした長期的な交通政策の方向を示す「大阪府交通道路マスタープラン」（平成 16 年 3 月）を策定し、総合的な交通政策を推進しております。

○大阪の再生・発展を支える交通ネットワーク

- ・関西圏における主要都市間の移動時間を短縮

区 間	整備前	整備後	備 考
神 戸～奈 良	88分	76分	阪神なんば線開業（平成21年3月）
大阪市～京都市	120分	60分	第二京阪道路供用（平成22年3月）

- ・渋滞の激しい交差点の通過時間を削減

成果指標	現 況	備 考
4割削減	45%	するっと交差点対策箇所62箇所調査

○多様なニーズに応えるきめ細かな交通

- ・アドプト・ロード・プログラムなど

への府民参加を拡大

成果指標	現 況	備 考
10万人以上	1.6万人	平成24年度

○安全で安心な府民生活を支える交通

NO₂は100%。SPMは26.5%*（平成23年度末）

※ 黄砂による影響

- ・沿道騒音の環境保全目標をおおむね達成
環境保全目標達成率：93.5%（平成23年度末）
- ・広域緊急交通路の重点14路線において耐震性を強化
（阪神淡路大震災と同等の地震発生時においても、交通機能を確保）
延長353.3km（14路線）において耐震化完了
- ・ ひたくり犯罪件数を半減

平成12年度末	現 況	備 考
10,973件	1,687件	平成24年中

- ・密集市街地アクションエリアの不燃領域率を向上
（密集市街地のアクションエリアにより、市街地の燃えにくさ向上）

成果指標	現 況	備 考
40%	約33%	平成23年3月

- ・交通死傷事故発生件数を抑止

あんしん歩行エリア内

成果指標	現 況	備 考
約2割抑止	約21%	平成24年

事故危険箇所

成果指標	現 況	備 考
約3割抑止	約17%	平成19年

- ・主要駅の対象地区においてバリアフリー化を推進

基本構想策定地区：128地区187駅（平成25年3月末）

貨物車交通プランの進捗状況

“物流”は、効率的な企業活動と便利で快適な府民生活を支えるものであり、大阪では、『貨物車交通』がその中でも重要な役割を担っています。このプランは、貨物輸送の効率化と都市環境の改善を目指して、道路整備などのハード施策と走行誘導等のソフト施策を合わせたものになっています。

○大型トラック走行マネジメントの取組み状況

大型トラック走行マネジメントとして、重さ指定道路の追加指定が望ましい路線を抽出しています。

	路線数	路線延長
重さ指定道路の追加指定が望ましい路線	25路線 (10路線)	187.4km (48.3km)

() 内は H25.4.1 時点で整備済の数字

○中型トラック走行マネジメントの取組み状況

中型トラック走行マネジメントとして、交通渋滞、沿道環境、交通安全面の改善の視点から、渋滞が著しい箇所又は沿道環境が悪い箇所を、整備が望ましい箇所とし、財政状況を見ながら、整備計画に盛り込むこととしています。

	整備が望ましい箇所	整備が望ましい路線
一般道路ネットワークの整備が望ましい路線	9箇所 (3箇所)	10路線：38.0km (3路線：22.8km)

() 内は H25.4.1 時点で整備済の数字

○トラック走行マネジメントの主な連携施策の取組状況

大阪府では、走行誘導方策として、物流マップの検討などの取組みを行っています。